

世田谷区議会議員 ケアマネジャー・介護福祉士

中塚さちよ

区政レポート
2020年8月号



プロフィール ■1975年 札幌市生まれ。介護福祉士、介護支援専門員。
■成城大学大学院及び明治学院大学大学院修了（文学・社会福祉学修士）
■特別養護老人ホーム及び訪問介護事業所勤務 ■衆議院議員小宮山洋子事務所政策スタッフ
■民間シンクタンク研究員を経て、2007年世田谷区議会議員選挙立候補、初当選
■現在、世田谷区議会議員（4期）。民間事業所ケアマネジャーとしても勤務。

新型コロナ対策へのご意見・ご相談、中塚さちよが応えます！

感染者が増え始めた4月上旬、区民の方より、発熱などの症状があり、区の相談先に電話したものの「コロナではなく別の病気では」と言われてしまったと相談が寄せられました。その方はその後陽性と判明。

ただでさえ具合が悪く、「コロナかも」と不安に陥っている区民にとって、否定されるのはとても辛いことです。見逃しや重症化の危険もあることから、私は委員会の質疑の際、専門家である医師の判断でPCR検査が受けられる体制を早急に整備するよう発言してきました。

5月よりようやく医師の診断によるPCRの民間検査がスタート。さらに「誰でも いつでも 何度でも」検査できる「世田谷モデル」の体制づくりを区長が表明しています。区民の安心と医療現場の負担軽減が図れるよう、引き続き調査、提言をまいります。

こんなご相談
増えてます！

電話相談をしても
PCR検査になかなか
辿り着きません



必要な人が迅速に検査を
受けられるように…！

介護現場からは、家族に感染者がいたり、熱発などで感染が疑われる利用者の家にヘルパーを訪問させられない、訪問看護師が対応するにも限界がある、どうしたらよいのかといった声が寄せられています。ショートステイも、感染拡大防止のため新規利用者の受け入れが制限されているのが現状です。

既存施設の空きベッドなどの活用も視野に、感染のおそれのある高齢者が一時的にケアを受けられる滞在施設の確保を求めました。

家族介護も
限界



介護も受けられる
滞在施設の確保を…！

職場や施設、学校で感染が起こっても、PCR検査が受けられるのは限られた濃厚接触者のみという現状。アメリカでは近隣の病院から感染の起きた企業等に医師と看護師が訪問、迅速に社員全員にPCR検査が実施されると聞き、検査所まで移動の必要がなく、クラスターから陽性者を取りこぼしなく発見できる訪問による集団PCR検査を委員会で提案。

新宿区でも、移動が困難な高齢者を対象とした訪問PCR検査が始まっています。本区でも医師会の協力を仰ぎ、実施していただきたい！

職場でコロナの
感染が発生！



訪問によるPCR検査の
体制づくりを…！

これらの提案は、感染発生後の対処療法でしかありません。私たち一人一人が、自分が感染しない、感染源にならないために特に何に気をつけるべきか、どのような行動をとるべきかを、感染経路や感染者の行動分析をもとに学習することが急務ですが、区は個人情報を守る盾に、有益な情報を公開しません！！感染予防に役立つ感染者の分析結果の報告を、強く区に求めています。

・・・ご意見・感想等お寄せください・・・ 発行：中塚さちよ事務所

世田谷区桜丘2-20-10 築野ビル303 TEL:03-3429-6078 FAX:03-4586-6343 ✉ nakatsukasachiyo@gmail.com

世田谷区の予算項目 約 1,000 事業を総点検！

保坂展人区長に「事業見直し」を提言 — 2020年7月15日 世田谷立憲民主党社民党

区は新型コロナの感染拡大による区民の所得減が今後区財政に影響をもたらすことを鑑み、今年度予算における「事業の見直し」を進め、約 30 億円の削減内容を提示しています。

私達の会派は、歳出削減ありきではなく、区民の福祉と生活を最優先にし、必要な分野にお金を使うために「不要不急」な項目は削るという視点に立ち、区が実施した事業の見直しを含めた約 1,000 項目の全事業について改めて点検・検証を行いました。

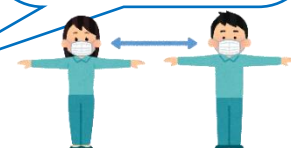
「緊急事態宣言」が解消されたのちに増加傾向にあった陽性者の数が再び感染拡大の兆しとなっています。引き続き、PCR検査の拡充と保健所機能の強化による感染予防対策を徹底し、早期発見・隔離・治療・療養・完治という素早い対応が求められています。

さらにこの間の「渡航の制限」「外出自粛」や「休業要請」などは感染拡大防止のため必要な取り組みであるものの、経済の停滞をもたらし、区民の雇用・営業・生活に深刻な影響を与えています。また経済の停滞は区税収入の減につながりかねないだけにその対策も問われています。

経済を回復させるためには何が必要なのか、医療と福祉・社会保障を行き届かせるために何が必要なのかを検討し、区民の生命と生活を守る区の取り組みに重点化することを目的として、以下、削減すべき事業と具体の金額を追加した「事業見直し案」を提出しました。(以下の表は一部抜粋・要約です)

| 予算事業名称 | 削減額 (千円) | 提案内容及び補足説明 |
|--|----------|-------------------|
| 企画総務委員会領域 担当: 羽田圭二 (社民) | | |
| おもてなしプロジェクト事業運営 | 8,257 | オリパラ開催確定まで予算凍結 |
| 議会活動 | 1,400 | 行政視察及び記念行事費用等の削減 |
| 区民生活委員会領域 担当: 中村公太郎・磯田久美子 (立民) | | |
| 観光事業の推進 | 15,000 | 英語版の観光関連経費削減など |
| 農業委員会運営 | 来年度見直し | 議員委員の廃止 |
| 福祉保健委員会領域 担当: 桜井純子 (社民) 中塚さちよ (立民) | | |
| 福祉人材育成・研修センター運営事業 | 1,276 | 研修の中止 |
| 高齢者サービス広報事業 | 来年度見直し | 介護応援アプリ事業の廃止 |
| 都市整備委員会領域 担当: 藤井まな (立民) | | |
| 外郭団体運営補助 | 来年度見直し | 退職理事者雇用枠の見直し |
| 地先道路用地取得 | 41,272 | 10%削減 (平均執行率 89%) |
| 文教委員会領域 担当: 風間ゆたか・中山みずほ (立民) | | |
| 教科日本語の推進 | 18,000 | 教科日本語の新規印刷の廃止 |
| 郷土資料館改修事務 | 8,500 | 郷土資料館の設計委託の先送り |

介護人材の研修は、長時間にわたる上、実技の練習で密着したり、グループワークで密集して議論するなど、万一コロナ感染者がいた場合感染拡大が心配される内容のものが多いためです。リスクのある研修は、今は再開すべきではありません!!



一方で、感染予防のためのオンライン研修など、新たな取り組みへの予算が必要とされています。従来型の研修は来年度以降に延期し、オンラインなどの研修に予算を充てるべきと、提案してまいります!

※上記を含めた、合計 82 事業 14 億 9,774 万 8 千円の事業見直し=予算捻出案を提言。

落合貴之 衆議院議員とも連携して取り組みます



今回の新型コロナウイルス感染症拡大に対応するための国の施策で求められる柱は、一に全国の医療体制の維持強化。そして、二つ目に経済対策です。今回は急で、しかも初めての事態が多く起こったため、野党側からの提案や議員立法も、多く政府の施策に取り入れられました。一律 10 万円給付やテナント家賃支援などは、落合貴之も策定に関わったものが土台となり、実現しています。

まだまだ感染拡大が収束していない中で、経済の状況も厳しいものとなっています。国難の中で、誰も見捨てられることなく、みんなで力を合わせて乗り切る。そしてよりよい社会を実現する。落合貴之も、力を尽くしてまいります。